

# 令和2年度 総務常任委員会活動報告書【最終報告】

## 1. 活動テーマ（重点調査事項）

住みたくなるまちに向けて

## 2. そのほか委員会で取り上げたいとして計画書に掲げた調査事項

- ・柴田町で今からできる移住・定住促進策について
- ・公共施設等総合管理計画について（個別施設計画策定状況）
- ・防災対策について

## 3. 活動実績

### ○所管事務調査

#### 1) 令和2年5月

各課における事務事業の内容及び執行状況について

※新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言等を踏まえて、書面調査のみでの実施

#### 2) 令和2年7月20日（月）、21日（火）

①コロナ対策を踏まえた避難所のあり方について

②移住定住について

③柴田町公共施設個別施設計画について

④空き家対策について

#### 3) 令和2年10月22日（木）、23日（金）

① 第30行政区の水害時の対策について

②柴田町公共施設個別施設計画について

※調査結果は別紙一覧表のとおり

### ○その他委員会での協議

#### 1) 令和2年6月11日（木）

①委員会活動計画等の振り返りについて

②今後の所管事務調査等の予定について

#### 2) 令和2年9月18日（金）

①委員会活動報告のまとめについて

#### 3) 令和2年11月9日（金）

①移住定住促進に関する提言書について

#### 4) 令和3年1月6日（水）

①町民の健康寿命延伸に関しての提言書について（協議）

#### 5) 令和3年1月25日（月）

①移住・定住に関する提言書について

#### 6) 令和3年1月28日（木）

①移住・定住に関する提言書について

## 4. 委員会としての成果及び反省

当委員会として取り上げるべき調査事項については、おおむね調査を行うことができた。

移住定住対策、人口減少対策について、提言書としてまとめることができた。

水害時の対策や車の避難については、次年度以降も引き続き注視していく。

次年度は、今年度の提言書に対する執行部の対応の検証を行い、人口減少対策の重要性をさらに強調して引き続き調査していく。

## 総務常任委員会 所管事務調査結果一覧表（令和２年度）

調査日	調査所管課	調査結果内容
7月20日(月) ～7月21日(火)	町民環境課	○空き家対策については、新しい「空き家・空き地調査票」に基づいて調査を行い、「早急な対応を要する問題有」の評価となるC判定は持ち主に通知を出し、改善が図られたかどうか確認すること。また、判定が変更になった場合、調査票の「情報等」欄に経過がわかるように記入すること。
	総務課	○コロナ対策を踏まえた避難所については、次の点に留意すること。 ・各優先避難所のレイアウトをはっきりさせること。 ・避難所運営にあたっては、人員配置等を明確にするため、自主防災組織連絡会と連携をはかること。 ・各優先避難所ごとの訓練を行うこと。 ○水害対策として、次の点に留意すること。 ・大雨時の車の待避場所の確保を講ずること。 ・社会福祉施設等の避難確保計画の策定を急ぐよう指導すること。
	まちづくり政策課	○空き家対策については、町民環境課で作成している「空き家・空き地調査票」を活用し、各課との連携を図りたい。 ○移住定住については、移住定住に関する各種支援制度の事例研究（例えば議会の視察報告書など）を行い、効果的な施策について検討を行うこと。
10月22日(木) ～10月23日(金)	総務課	○第30行政区は、大雨時には浸水被害が発生することから、行政区内の数か所を車の一時避難場所とするため、協定等を結んでいる。また、同様に、他の行政区でも企業等と協定等を結んでいるところがある。町は、その場所、相手、内容などを把握し、安全面について助言する等、地域との連携を図ること。
	財政課	○柴田町公共施設個別施設計画については、令和元年度、住民懇談会を実施して計画内容等について周知する予定だったが、台風19号の影響で実施できなかった。その後、広報紙に掲載したが、住民がこの内容を十分把握しているとは言えないことから、計画策定の必要性や今後の取組み、その他現在計画を基に進めている工事などについて、さらに周知する機会を設けること。